

『実科教育』誌の目次集（稿）について

丸山 剛史

内田 徹

『実科教育』誌は、1902（明治 35）年 10 月 21 日に開発社から刊行された教育雑誌である。木戸若雄によれば、同誌は、図画、手工等の「技能技芸教科」だけでなく、地理、歴史、博物等の「実物的実質的知識を与ふる学科」をも対象とし、「実業教育」より「やや範囲が広」い「実際的実用的教育」を扱った雑誌とされる⁽¹⁾。

木戸は、同時期に刊行された『実業教育』誌（1897 年創刊、実業教育社）、『農業教育』誌（1901 年創刊、農業教育研究会）と比較し、『実科教育』誌の対象の広さ及び同誌の性格の曖昧さをあげ、「この雑誌は一年と続かなかつたのではあるまいか」と同誌の歴史的位置に関して述べている⁽²⁾。これまでに確認されていたのは、1902（明治 35）年に刊行された創刊号と第 3 号のみであった。

しかし、筆者らは、第 4 号（1903 年 1 月）から第 12 号（同年 9 月）までを入手し、『実科教育』誌が 1902 年以降も継続的に刊行されていたことを確認した。また、同誌の内容に関して、紹介するに値するものも含まれていると思われたため、その目次集を作成し、寄稿した次第である。

筆者らは、工業教員養成の主体性問題に関心を抱いている⁽³⁾。こうした筆者らの問題関心からすると、『実科教育』誌に東京高等工業学校附設工業教員養成所及び同養成所附属工業補習学校に関する論稿、記事が散見されることは興味深い。関係する論稿、記事としては、以下のものがあげられる。

- 第 4 号 手島精一（東京高等工業学校長）「工業教育」
- 第 6 号 牧野啓吾（東京高等工業学校附設工業教員養成所附属工業補習学校主任）
「工業教員養成所附属工業補習学校の規則改正…並に其後の成績」
「参観 東京高等工業学校附設工業教員養成所附属工業補習学校」
- 第 11 号 牧野啓吾（東京高等工業学校附設工業教員養成所附属工業補習学校主任）
「亜米利加の実業教育」
「雑纂 東京高等工業学校附設工業教員養成所附属工業補習学校案内」
- 第 12 号 牧野啓吾（東京高等工業学校附設工業教員養成所附属工業補習学校主任）
「亜米利加の工業教育」

周知のように、第二次世界大戦前、工業教員養成を主たる目的とした教育機関として工業教員養成所が存在し、工業教員養成が目的、意識的に行われていた。また、こうした工業教員養成所の設置に手島精一（1894-1918）が重要な役割を果たしたこともよく知られている。

しかし、工業教員養成所の営みや手島の工業教員養成論に関する資料となると、かなり限定される。詳論するには、新たな資料を発掘する必要がある。内田は東京工業大学附属図書館及び同大学百年記念館を中心に関係資料の収集に取り組み、新資料を求めて探索を続けてきた。しかし、『東京工業大学六十年史』（1940 年、東京工業大学）に用いられた資料以上のものを見つけることは困難であった。

こうしたときに、筆者らは『実科教育』誌を入手し、同誌の存在に着目するようになった。なぜなら、『実科教育』誌には、三好信浩『手島精一と日本工業教育発達史』（風間書房、1999 年）にも取りあげられていない手島の工業教員養成に関する論稿などが含まれていたからである⁽⁴⁾。

他にも、よく知られた人物の論稿も掲載されており、とりあげておくことは無駄でないように思われた。そこで、貴重な誌面をかりて紹介しておく次第である。本来ならば、「実科教育」に関して、詳述する必要があるように思われるけれども、現在、筆者らにはその準備がない。「実科教育」と『実科教育』誌との関係の検討等に関しては、機会を改めたい。

注.

(1) 木戸若雄『明治の教育ジャーナリズム』近代日本社、1962年、82-83ページ。ちなみに、城戸幡太郎・他編『教育学辞典 第二巻』(岩波書店、復刻版、1983年)は、「実科」の項目のなかで「実科教育」に関して次のように説明している。「我国に於ては普通教育に於て農業・商業・工業・家政等に関する学科を授ける場合、之を実科教育と称する。」(執筆者は皇至道、947ページ)

(2) 同上書、83ページ。

(3) 丸山剛史・尾高進「技術科・工業科教員養成の現在」『技術と教育』第386号、2006年、1ページ。内田徹「東京高等工業学校附設工業教員養成所による工業学校教員の養成と供給に関する量的分析」『産業教育学研究』第34巻第2号、2004年、25-32ページ。

(4) 三好『手島精一と日本工業教育発達史』では、手島の論稿に関して、「手島語録一覧」が作成されている。『実科教育』第4号に掲載されている手島の論稿は、この「一覧」に含まれていない。

資料：『実科教育』誌目次集（稿）

- ・目次集を作成するにあたっては、編者が所蔵機関に出向き現物を確認した。編者が現物を確認した所蔵機関を「号」右横のカッコ内に記した。
- ・丸山私蔵分に関しては、玉川大学図書館に寄贈することになっている。

第1号（1902年10月21日発行）：玉川大学図書館木戸文庫

口絵

◎仏国に於ける理想的各種男女子の地位／◎東京高等工業学校附属職工徒弟学校木工科金工科実修の図

時言・・・1

●実科教育とは何か……学問教育の古弊……中小学校の教育……実業教育……実業学校……道德教育……功利主義と実科思想

論説・・・3

- 実科教育の発刊を賀す　帝国教育会長　辻新次
- 所謂実業教育に就て　貴族院議員　久保田讓
- 実業教育の基礎に就て　貴族院議員　伊澤修二
- 商業立国論　前巴黎大博覧会審査官　鹽田真
- 実科教育の発刊を祝す　文部省視学官　中川謙二郎
- 農業教育半面の視察　農科大学教授農学博士　横井時敬
- 鳥島火山　東京高等師範学校教授　矢津昌永
- 実業補習教育に就て　山梨県視学官　鈴木重持
- 公德の欠乏の反射　前高等商業学校長　寺田勇吉
- 実科教育の発刊に就て　実業学務局長工学博士　真野文二

応用・・・22

- 普通教育に於ける理科　東京府立第一中学校教諭　帰山信順
- 裝飾術の話　福地復一
- 手工科教授に就て　東京高等師範学校助教授　岡山秀吉
- 小学校に於ける工夫画　東京美術学校研究科　五味和十
- インキの話　崑崙山人

人物・・・34

- 西洋農業の輸入者津田仙翁
- 渡辺子爵の断片
- 真野実業学務局長の談話
- 藤田全盛亀鑑　真龍齋貞水口演

参観・・・45

- 東京高等工業学校附属職工徒弟学校参観記
- 大日本農会附属私立東京高等農学校参観記
- 女子高等師範学校附属小学校手工教場参観記

雑纂・・・52

- 世の少年及其父兄に告ぐ　東京府立職工学校長　今景彦
- 長野県下赤穂染織学校　赤穂染織学校長　柴崎虎五郎
- 人国記
- 臍下三寸生徒の姿勢
- ◎外国人の帝国民◎減出増入論◎某美術家の図画教育談◎仏蘭西の下女
- ◎支那の民船　劍堂迂人

時報・・64

- ◎松方伯の談話一節◎工業と教育◎博覧会坪数◎木炭と醋酸◎貨幣製造の地金額◎銀行
- ◎帝国商業教育の概況

第3号(1902年12月10日発行):東京大学・明治新聞雑誌文庫

口絵

- ◎英国学校の絵画 ◎教授用/◎生徒の筆に成れるもの

時言

- 学制問題 実効は人に依る…教科書に就いて…実業教育教科書…女子の教育…殊に其の専門教育…専門教育の徳育

論説

- 国民最後の教育(下)… 大分県宇佐農学校教諭 香月喜六
- 大に畜産事業を奨励すべし 米国農学士理学士 津田次郎
- 实际的教育 東京美術学校校長 正木直彦
- 社会を対象とせる教育 在大学院文学士 樋口秀雄
- 小学校に於ける工夫画 東京美術学校研究科 五味和十

応用

- 動植物の排泄物と其作用 石川県高等女学校教諭 高桑良興
- 農業と「バクテリア」 農事試験場技師農学士 町田咲吉
- 図按 東京高等工業学校教授 井手馬太郎

人物

- 加納子爵実践談
- 藤田全盛亀鑑 真龍齊貞水口演

参観

- 文科大学精神物理学教室を観る
- 日本女子大学校を観る

雑纂

- 清国開港場の栞 劔堂迂人
- 巡錫小話 大内藹々居士
- 人国記
- 横浜商業学校規則
- 今の少年及其父兄に告ぐ 東京府立職工学校長 今影彦
- 九州七県実業教育現況一般 普及社取締役 遠藤国次郎

時報

◎教育

- 女子東京美術学校●東京府組合教育会の建議●高等工業学校の補習教育●東京府立職工学校
- 神戸高等商業学校●工手の母社友会●高等教育会議諮問案

◎実業と人

- 米国の成業者と其職業●米国大統領の日本実業評●カーネギーの大策●「ストライキ」の仲裁委員
- 仏国工場と怪我人●全国の工場職工数●世界最大の紡績所●クルツプの長逝

◎実業資料

- 全国麦実収高●小野氏の米談●全国米作統計表●米国生産費の調査●稲田一段歩の生産費
- 郵便貯金の現況●最近の世界産糸高●綿「ネル」の生産費●東京と牛●仏国人の海外放資
- 英国の面白き一市

◎發明創思

- 絹に附着せる絵具を去る法●毛茸の屋根●新發明の遊戯●自働防火扉の外国特許

◎諸実業団体

- 英米煙草会社●米国の肉類大「トラスト」●熱田実業協会●新士会の実業調査●全国■糸業大会

第4号（1903年1月10日発行）：丸山剛史私蔵

口絵

◎実業教育に関係ある大家の小照

◎自然と工芸

時言・・1

◎新年の祝詞……政府の意向……政治家の意向実業尊きか実業は卑しからざるか……職業に貴賤なきか 再び問 実に職業に貴賤なきか……再び問 然らば実業は賤いか……実に尤な事であるか……然らば実業を如何せん……如何にして理想化しはるか

論説・・3

◎将来の国民教育に要する注意 文学博士 中島力造

◎小学校の農業教授法について 農学博士 横井時敬

◎畜産に関する教育を普及せしむべし 農学博士 本田幸介

◎林業教育について 林学博士ドクトル 本多静六

◎工業教育 東京高等工業学校長 手島精一

◎対清韓実業教育 農学博士 酒匂常明

◎実科中学と甲種商業学校 東京高等商業学校教授 水島鐵也

応用・・23

◎本誌挿入図按の説明 東京美術学校教授 島田佳矣

◎商業教育談 東京商業学校教授 東爽五郎

◎工業教育談 東京高等工業学校教授 平野耕輔

◎小学校に於ける工失画（四） 東京美術学校研究科 五味和十

◎動植物の排泄物と其作用（続） 石川県高等女学校教諭 高桑良興

人物・・24

◎加納子爵実践談

◎藤田全盛亀鑑 真龍齋貞水口演

参観・・42

◎西ヶ原農事試験場を観る

◎王子抄紙場・・46

雑纂・・48

◎我国実業教育の一端・・48

◎清国開港場の葉（二） 劍堂迂人

◎九州七県実業教育一斑 普及舎取締役 遠藤国次郎

◎東海五県実業教育の現況 同理事 三輪唯五郎

◎青森外七県実業教育一斑 同 同 木村知治

◎人国記

◎信州松本口尻間鉄道開通式詞 貴族院議員 辻新次

◎横浜商業学校規則抄録（続）

◎教科実業行商日記 吉澤丈作

時報・・68

◎教育・・68

●実業学校課程●工科大学新設実験場●職工学校の夜学科卒業●初等実業者養成

●中等教育の調査●大阪市立高等商業学校●京都高等工業学校●農業教員養成所

●工業専門学校設置●松方伯の実業教育談

◎実業と人・・70

●渡辺子爵の談●模範的の好自治村●清国工業と本邦人●日本人と信用●対外談

◎実業資料・・71

●日本の火災●生糸貿易高●工業材料の価●本年の春繭

◎発明創思	72
●米国の特許事業●殺火粉の試験●築港用材料	
◎諸実業団体	73
●日清工業協会●蒙古王の出品●信用実業会●農事調査事項●水産連合会の答申	
◎新刊書籍	75
●坪内博士監督の少年文学●独立自営大国民●児童新聞●外数件	
第5号(1903年2月10日発行):丸山剛史私蔵	
口絵	
●農商務省商品陳列館	
●米国人形製造の絵	
時言	1
●第五回内国勸業博覧会其一 其二 其三 其四 其五	
●文明の大勢と教育 初等教育者の誤解 文明の大勢の二面 物質的文明と教育	
論説	4
●実科教育に就きて 文学博士男爵 加藤弘之	
●女子の職業としての教育 東京府女子師範学校長 林吾一	
●近世教育に於ける実科思想の発達 早稲田大学講師 中島半次郎	
●低度の水産教育を論ず 水産講習所 森川萬蔵	
応用	17
●根本の培養 法学博士 添田寿一	
●女子実業教育に就きて 東京高等工業学校教授 内海静	
●普通教育に於ける理科 東京府第一中学校教諭 帰山信順	
●酒 松籟主人	
人物	31
●前々高等商業学校長矢野次郎先生	
参観	41
●第五回内国勸業博覧会	
●農商務省商品陳列館	
雑纂	46
●清国開港場の葉(三) 劔堂迂人	
●近畿中国実業教育の一斑 普及舎編集所一局長 市橋虎之助	52
●人国記	55
●教科実修行商日記 東京高等商業学校 古沢丈作	
●東京市牛込実業夜学校規則	
●自治と教育 大蔵省主税局長 目賀田氏談	
●東海五県実業教育の現況(続) 普及舎理事 三輪唯五郎	
時報	67
◎教育	67
●本郷工商業補習学校●実業学校補助●英米工業学校の優劣●名古屋高等工業学校	
●神戸高等商業学校●高等実業学校々長●工手学校	
◎実業と人	68
●バレット氏の日本観●英国印刷工と労働時間●欧米職工の熱心●緑綬褒賞授与●外国語の招牌調査	
●北米の石炭攻●「インター」石油会社	
◎実業資料	70
●将来最有望の事業●博覧会出品点数●室蘭港●潤野炭鉱災害被害●機業地貸下機械の購入	
●大森林発見●春照村の繁栄計画	
◎発明思想	73

- 炭化「カルシューム」の製造●河水自流揚水器●曹達の新式製造●網布器械発明●醤油種麴の発明
- ◎新刊書籍・・74
- 応用肥料学●桐樹天狗巢病原論●外数件

第6号（1903年3月10日発行）：丸山剛史私蔵

口絵

- 東京高等工業学校の図按科及染色科
- ブラット工芸学校の図按科料理科

時言・・1

- 奮へ我が国民…民業は多方面口るべし…農家の改進…農業教育の必要切なり
- 現代の我国…独立自尊…其二…自己の宇宙を開拓すべし…卑怯の原因…斯の教育…其二

論説・・5

- ろんどん地方部の工業教育 大蔵省主税局長 目賀田種太郎
- 女子の職業教育について 文部省視学官 中川謙二郎
- 職工教育 御影師範学校長 奥田教信
- 低度の水産教育を論ず（続） 水産講習所 森川萬蔵

応用・・18

- 根本の培養
- 工業教員養成所附属工業補習学校の規則改正…並に其後の成績 同校主任 牧野啓吾
- 小学校に於ける工夫画（四号の続） 東京美術学校研究科 五味和十

人物・・30

- 体操専攻家井口あぐり嬢の談話
- 二宮尊徳翁の偶評
- 藤田全盛亀鑑

参観・・39

- 農商務省商品陳列館
- 東京高等工業学校附設工業教員養成所附属工業補習学校

雑纂・・46

- 清国開港場の栞（四） 劔堂迂人
- 最近大学教育学の短評
- 人国記

○小松宮彰仁親王殿下の薨去

時報・・57

◎教育

- 高等商業教育の普及●神戸商業学校の所在●殖民学校●実業学校統計●市立実業学校
- 職工徒弟学校●口絵の説明●佐野実業補習学校●静岡商工補習学校●工業学校の程度

◎実業と人

- 職工徒弟雇入紹介令

◎実業資料

- 石油業●工業試験所●印度商品見本品●特許品の陳列●醸造試験所の工事●米独貿易上の関係
- 南洋の燐礦●独逸官報の日本技術評●昨年の米作実収額●明治初年以来の米価●災害地の地租
- 青森県凶作救済●同上受救者●東京市の塵埃

◎発明創思

- 砲兵工廠の新事業●多田式機力織機●愛知県の綿毛布●防水紙布

◎実業団体

- 埼玉県の織物協会●北陸実業大会●四国実業大会●非「トラスト」案

◎新刊書籍

- 農民之目醒●少年世界文学●最近大学教育学●大西博士論理学●其他数件

○次号予告

第7号（1903年4月10日発行）：丸山剛史私蔵

口絵

- 大阪博覧会の職員
- 北米合衆国米作の状況

時言

- 卒業生諸君を送る
- 普通教育と実業科との関係の世論…其反対論…問題の由来は如何…学科とは何ぞや…教科と何ぞや…問題の解決

教育

- 欧州人の気質と我國民教育 農学博士 新渡戸稲造
- 工芸に関する学校の設立について 実業学務局長 真野文二
- 小学校に於ける手工科 東京府師範学校教諭 杉田稔
- 毛筆画教授法について 東 美術学校卒業生 羽生道也
- 農学校の性質 山形県置賜農学校教諭 千葉敬止

教材

- 日本の国土 田川大吉郎
- 清国開港場の栞（五） 劔堂迂人
- 博覧会と本邦の国勢 農商務省商品陳列館 山崎俊彦
- 綿毛布及肩掛 名古屋商業学校 荒川三郎

人物

- 東京高等工業学校手島精一先生
- 建部文学博士を訪ふ

参観

- 第一高等学校開校紀年日の飾物

雑纂

- 最近大教育家の短評（続）
- 教科実修行商日記 東京高等商業学校 古沢丈作
- 工芸品小史 農商務省商品陳列館
- 一双の美玉

時報

◎教育

- 専門学校令●実業学校令●証書授与式●実業講習●実業教育補助費●八王子織染学校
- 中央商業学校●山形県立工業学校●実業学校設立に関する注意●本誌口絵の説明

◎実業と人

- ネルソン氏の我農工観

◎実科資料

- 鯿罐詰の好望●落花生油●昨年の外国貿易●同上の計算●神戸繁栄策●新渡戸博士談
- 西洋菓子●日本菓子

◎実業団体

- 独逸の「トラスト」●同業組合と業別●実業一般協会
- 發明創始
- 日干製造醬油●莖織機●彩色硝子と蠶兒●發明者の劇場

◎新刊書籍

- 通俗世界文学●新教育学●実験裁縫教授書●人民読本●初等理科教授指鍼●其他数件

第8号（1903年5月10日発行）：丸山剛史私蔵

口絵

- 米国メキシコ湾頭米作の様相其二
- 北米フレザー河畔の漁業

時言	1
●小学校令一部の改正と小学校…彼三科を課することは困難なりや…手工科につきて…農商業科につきて…小学校に於ける実業科と普通の実業…吾人の大に惜む所	
教育	6
●欧州人の気質と我國民教育（続） 農学博士 新渡戸稲造	
●小学校令の改正について 普通学務局長 沢柳政太郎	
●普通教育に於ける理科（四） 東京府第一中学校教諭 帰山信順	
●毛筆画教授法について（続） 東京美術学校卒業生 羽生道也	
●独逸と其工業教育 東京商業学校講師 石黒定美	
教材	24
●男女織工徒弟の雇入について 農商務省書記官 窪田静太郎	
●清国開港場の栞（六） 劔堂迂人	
人物	36
●横井農学博士を訪ふ	
●経世史談ゆりのかほり	
参観	41
●農商務省製糸講習所	
雑纂	45
●教科実修行商日記（続） 東京高等商業学校 古沢丈作	
●工芸品小史（続） 農商務省商品陳列館	
●郡是及町村是 官報	
●續紛録	
時報	61
◎教育	
●明治三十四年度の実業教育	
◎実業と人	
●ノース氏の本邦観●米人の社交と商業	
◎実業資料	
●美術館上の玉座●米国々富の盛況●独逸の商工業●重要品の産出●和紙の数量	
●灘五郷の清酒高●東京市諸物価●東京市の賃金	
◎発明創思	
●炭化石灰工場●缶詰の改良●「セリュロイド」の応用●「アルミニウム」の製品	
●鱈の新生面	
◎実業団体	
◎全国実業大会	
●全国漆器業者大会●全国水産会●全国洋服業者大会	
◎新刊書籍	
数件	

第9号（1903年6月10日発行）：丸山剛史私蔵

口絵

- 高岡工芸学校雪の芸術
- 支那漢口市の全景

時言	1
●道德者流の言…実業者流の言…二種の学校教育…実業者と道德者との関係…道德と幸福なる生活	

…お鉢の廻り来たること有り…市町村の根本的経営…町村の小学校教員諸君 教育	6
●帝国に於ける発明及其教育について 農商務省特許局長 柳谷謙太郎	
●女子の職業及其教育 女子高等師範学校教授 下田次郎	
●普通教育に於ける理科(承前) 東京府第一中学校教諭 帰山信順	
●ヘメリーク氏の商業教育 商業教育研究会員 足達丑六	
教材	24
●清国開港場の栞(七) 劔堂迂人	
●地方郡是町村是状況綱要 内務省	
人物	32
●経世史談ゆりのかほり(続)	
参観	36
●東京衛生試験所	
雑纂	46
●小学校手工品説明書 東京高等師範学校	
●教科実修行商日記(桐生/伊勢崎) 東京高等商業学校 古沢丈作	
●路辺の小草	
時報	59
◎教育	
●教育大会●来年の万国博覧会●米国工業学校長来●全国農学校長会●農業振興の一例	
●全国商業学校長会議●本年の教員夏期講習会●名古屋商業学校	
◎実業と人	
●米国職工の賃金●米国対独逸の文明●身体の徴候と其人の品性	
◎実業資料	
●釜石の製鉄業●英米仏の機関車●西陣織物模範工場●本年度の府県財政予算	
◎発明創思	
●新磁器及石炭窯の発明●護謨液搾出の新法	
◎新刊書籍	
●植物の感覚●イリアット物語●雨月物語●社会主義活弁●都市社会主義●少年世界文学	
●中学新遊技書●教育史綱要●其他教項	
第10号(1903年7月10日発行):丸山剛史私蔵	
口絵	
●石炭瓦斯製造所	
●人工の花	
時言	1
●低度の実業学校…如何にして低度の実業学校を設立すべきか…現今に於ける低度の実業教育 …現今の教育思想…特殊教育…模範的実業家庭とは何ぞ	
教育	3
●普通教育に於ける理科 東京府第一中学校教諭 帰山信順	
●水産教育の施設は目下の急務なり 水産講習所助教授 宮崎賢一	
●ヘメリーク氏の『商業教育』 商業教育研究会員 足達丑六	
教材	12
●無線通信のはなし 東京高等師範学校教授 後藤牧太	
●富の争奪史の一瞥 横井時敬	
●社会主義論(一) 独逸ドクトル 老猿	
●茄子と苺 農科大学 駒の里人	
人物	28

●齋藤農事場技師を訪ふ	
参観	38
●下総国小御門木下両農学校を観る	
●手工教授例	
雑纂	43
●教育家某君に呈する弁難書	
●教科実修行商日記（前橋） 東京高等商業学校 古沢文作	
●渋沢男爵の商業教育経歴談	
●カナダの無線電信会社	
●英国服装博覧会概況	
時報	58
◎教育	
●実業学校教員の資格●実業練習生の成績●殖産講話会の状況●大阪商業会議所の意見	
◎実業と人	
●常宮殿下意を殖産に用い給ふ●豪商懐古談●女子の事務員●京都商業会議所のレ氏招待	
●商品陳列館の縦覧人	
◎実業資料	
●呉服雑談●里昂絹業産額●人造藍の発達及由来●入超は出超●米質と肥料●養魚池の肥料	
●独逸の機械類●スエス運河の船●日清韓貿易参考室●「ビスケット」	
◎発明創思	
●窓硝子製造●揚水機●漆器素地●人造「ピッチ」●電気動力応用の新版図	
◎実業団体	
●大阪商店改良会●缶詰製造会社●英国共同組合●全国商業会議所連合会●四国区実業大会	
●東京勸業協会	
◎新刊書籍	
●模様画初歩●我家の犬猫●下道の枝折●自修読本●帝国に於ける特許発明の発達一般	
●其他数件	
◎口絵解説	
第 11 号（1903 年 8 月 10 日発行）：丸山剛史私蔵	
口絵	
●米国学校生徒の農業	
●我国学校生徒の工業	
時言	1
●聖路易博覧会…同博覧会の主旨…吾が国に対する嘱望…吾が教育上の出品…教育者は必らず同博覧会を観覧すべし	
●実業界目下の急務…実業徒弟学校…我国の徒弟制度…現代の文明より見たる斯制度…之を如何せん	
教育	4
●実業教育について（上） 特許局審判官 中松盛雄	
●ヘメリーク氏の『商業教育』（三） 商業教育研究会員 足達丑六	
●普通教育に於ける理科（続） 東京府第一中学校教諭 帰山信順	
●亜米利加の実業教育 工業教員養成所附属工業補習学校主任 牧野啓吾	
教材	18
●社会主義論（一） 独逸ドクトル 老猿	
●天災軽減の法如何 東京高等師範学校教授 矢津昌永	
●清国開港場の栞（八） 劔堂迂人	
●稻の草とり 農科大学 駒の里人	

人物	33
●経世史談由利のかほり	
●同附録…由利子爵を訪ふ	
参観	41
●静岡県子田水産補習学校参観記 水産講習所助教授 宮崎賢一	
雑纂	46
●発明の教育について	
●教科実修行商日記 (高崎上田) 東京高等商業学校 古沢丈作	
●東京高等工業学校附設工業教員養成所附属工業補習学校案内 同校	
時報	57
◎教育	
●文部大臣の更迭●東京高等工業学校卒業式●実業教育と博覧会●諸国工業学校の比較	
●女子商業学校の新設	
◎実業と人	
●商店の慣習調査●信州製糸家と鉄道工事●印度紡績会社の経済	
●巴理市民の所得額及借家料	
◎実科資料	
●聖路易博覧会の日本館●オーシャン島の燐礦●石炭に優る植物●十六ヶ年の森林経営	
●本年の春蚕●耕地整理と湿田●博覧会の受賞者●戦車と軍費●米国米の価格	
●本年上半期の外国貿易●昨年度の世界製糸産額	
◎発明創思	
●人造砥●自働製糸器械●新製革法と X 光線●避電服●聾啞聴音器	
◎実業団体	
●四国区実業大会の問題●京橋区実業大会●産業組合の現況●同盟罷工保護会社の設立	
●聖路易博覧会事務局官制	
◎新刊書籍	
●女子運動法●作物の話●動物社会●衛生一夕話●休暇日誌●名著文庫●理学界●他数件	
◎口絵説明…正誤	
第 12 号 (1903 年 9 月 10 日発行) : 丸山剛史私蔵	
口絵	
●青年農業家の成功	
時言	1
●教育は富人に必要なか…教育と自修との関係…事業成功の三要素…学校の与ふる教育…実業界に注意せられざる一側面…少年青年の希望…成功の原理	
教育	4
●我学校生徒募集の方法 広島高等師範学校長 北条時敬	
●実科教育について (下) 農商務省特許局審判官 中松盛雄	
●普通教育に於ける理科 (続) 東京府第一中学校教諭 埴山信順	
●亜米利加の工業教育 工業教員養成所附属工業補習学校主任 牧野啓吾	
教材	15
●青年農業家の事業 農商務省農務局長農学博士 酒匂常明	
●我国実業の方針について 農商務省 某高等官	
●社会主義論 (二) 独逸ドクトル 老猿	
●清国開港場の葉 (九) 劔堂迂人	
●山羊の話 農家大学 駒の里人	
人物	33
●文学博士井上圓了先生を訪ふ	

●経世史談ゆりのかほり	
参観	41
●東京市水道淀橋上水工場を観る	
雑纂	46
●長野県下伊那郡某小学校の修学旅行（一）	
●宮中御兼題『貯金の歌』	
●普通教育に代って貯金唱導者に答ふ	
●教科実修行商日記（長野）	東京高等商業学校 古沢文作
●「ローソープ」学校園芸事業の現況	同校主事 ミルラー夫人
●吉原地方局長の模範村治巡視談	
●和田商工局長の工業地視察団	
●酒勾農務局長の耕地整理談	
時報	57
◎教育	
●我教育成績と米国博覧会●早稲田実業学校●東京高等農学校の組織変更	
◎実業と人	
●大事業に成功する秘訣●瑞西国に於ける織物職工	
◎実科資料	
●横浜市外商の運転資金●職工危険防止器●福井羽二重産額●全国市の財政	
●全国町村の財政	
◎発明創思	
●世界工業の一大革命●エヂソン氏の失明●新式瓦斯発動機●人造樟脳●女子服装図案	
◎実業団体	
●馬頭町信用組合●聖路易博覧会の規模●同上本邦要求坪数●同上博覧会日本全土模型	
◎新刊書籍	
●精神靈動●冷水養生法●其他数件	
◎社告	